

建学の精神 EST. 1935 (昭和10年) 創立81年

- ・キリスト教に基づく人格教育を行います。
- ・専門教科による職業教育を行い、有能な人材を育成します。
- ・自主独立の精神を養います。
- ・国際交流による国際理解教育を行います。

普通科

- 特進コース
- 普通コース
- 健康福祉コース
- 保育コース
- インターコース
- 一貫コース

看護科

- 看護科
- 看護専攻科

商業科

- 商業コース
- 美容専攻コース
- 製菓衛生師コース

特別進学コース

勉強合宿

7月20日(水)~22日(金)までの3日間、毎年恒例の北九州市立玄海青年の家での夏期勉強合宿が行われました。1年生は生活習慣と学習習慣の確立、2年生は学習習慣の確立と受験準備、3年生は志望校突破のための実力養成と学年での目的を定め、朝から夜まで授業と自学自習の3日間を過ごしました。



製菓衛生師コース

2年生 製パン実習

7月25日(月)~27日(水)の3日間、製パン実習がありました。2年生19名は、特別講師の武藤欣弥先生をお迎えして玄米食パン・ベーグル・菓子パンなど8種類のパン実習に臨みました。



3年生 和菓子実習

8月16日(火)~18日(木)の3日間、和菓子実習がありました。講師には、例年ご指導していただいている門司の「なごし」店主の名越一幸先生をお迎えし、創作菓子や代表的な饅頭・和菓子を作りました。



名越一幸先生指導のもと、夏限定のくずもち・水饅頭・ピオーネ・月見団子他の和菓子を作りました。

進路学習

7月6日(水)、本校の高校2年生を対象に進路説明会がありました。会場のクラウンパレスには60校を超える大学・短大・専門学校が参加し、それぞれのブースでは学校の説明や入試制度について担当者から詳しく説明があり、生徒も真剣に聞き入っていました。毎年、2年生のこの時期に進路説明会を開いているのは早くから将来の目標を定め進路実現に向けて頑張ってもらいたいと企画している行事です。



四校競技大会

8月18日(木)、四校競技大会が行われました。福岡女学院、西南女学院、梅光学院と本校の四校で同じキリスト教同盟校がスポーツを通じ交流を深めている伝統的な行事です。結果は、次の通りです。

バスケットボールの部：優勝
硬式テニスの部：優勝

私学展

第24回 私立小・中・高校展

8月20日(土)・21日(日)の2日間、「小倉井筒屋」パステルホールにて私立小・中・高校展があり、本校のブースにも多くの中学生や保護者の来場があり賑わいました。特に、今回は対話型ロボットペッパー君の説明に興味関心をもって頂いた生徒さんも多く、終日ペッパー君のまわりには多くの人だかりができていました。



1階のステージでは制服ショーも行われました。



募集定員(推薦・一般) 340名【普通科 150名/看護科・看護専攻科<五年一貫> 70名/商業科 120名】

推薦入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)～ 1月18日(水) 受付 午前9時～午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

一般入試要項

学科	コース	出願期間
普通科	特別進学 普通 健康福祉 保育 インターナショナル※ 中高一貫	平成29年 1月10日(火)～ 1月27日(金) 受付 午前9時～午後5時
	看護科・看護専攻科<五年一貫>	※日曜日・祝日は除きます。
商業科	商業 美容専科(女子) 製菓衛生師	※土曜日は午前9時～ 午後2時までとします。

※インターナショナルコースは外国人女子留学生のみ募集

試験日	試験科目(基礎学力)	合格発表
平成29年 1月24日(火)	国語・数学・面接 特進・看護のみ 国語・数学・英語・面接	平成29年 1月26日(木)

試験日	試験科目	合格発表
平成29年 1月31日(火)	国語・数学・社会・理科・英語	平成29年 2月6日(月)

学校見学会(予定)

- ・ 学校紹介
- ・ 授業体験
- ・ 校内見学
- ・ クラブ紹介
- ・ 進学相談
- ・ 入試対策 等

第2回 9月24日(土)

第3回 10月15日(土)

第4回 11月12日(土)

「草創期の黒田藩と栗山大膳 黒田長政の入国④

長政が福岡に入国後、本城の築城に取り掛かりますが、同時に、護りを固めるため、六端城の築城に取り掛かっています。それから六端城は次の通りです。大隈城(嘉麻郡)城主後藤又兵衛 鷹取城(鞍手郡)城主母里太兵衛 左右吉城(まてら・上座郡)城主栗山備後利安 黒崎城(御牧郡)城主井上周防之房 若松城(御牧郡)城主三宅三太夫 小石原城(上座郡)城主黒田六郎右衛門 これからも解けるように、全て豊前との国境に備えた築城で、細川藩の攻撃に備えた護りでした。しかし、これらの端城も、元和元年(1615)、大阪夏の陣で豊臣氏が滅び、細川独裁支配が確立、強固な幕藩体制が確立すると共に、藩相互の抗争は許されない時代を迎えて、一国一城令が出されることになります。後世から考えれば誠に残念なことに全ての端城が破却されてしまいました。長政が慶長五年(1600)に入国して集中豪雨による被害の甚大さを経験したのは、慶長十七年(1612)までの十年間に、現在の気象状況からしても、二、三回はあったのではないかと想像されます。本城築城も入国の翌年から取り掛かり、七年の歳月をかけて、慶長十二年(1607)に完成させています。新しく見事なお城の勇姿を眺めて、五十二万石の太守の気分満足に違いありません。築城に一段落した長政は藩政最大の課題である農政に取り掛かります。

小田弘之著書「草創期の黒田藩と栗山大膳」より